

令和4年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和5年3月31日時点)

施設名	港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ						
指定管理者	公益財団法人 東京YMCA						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	芝浦港南地区総合支所管理課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託(シルバー人材センター等)	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	23	18	5	9	0	9	0	32
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考	
正規・非正規職員の退職者数		1						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
施設利用者数(人)	67,649					
施設利用者数(うち高齢者)	9,894					
施設利用者数(うち児童)	42,408					

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
経費実績	収入	172,082,018	0	0	0	0	
	指定管理料(清算後)	172,082,018					
	利用料金収入	0					
	その他収入	0					
	支出	170,460,957	0	0	0	0	
	職員人件費	120,492,495					
	光熱水費	10,721,941					
	修繕費	5,699,194					
	事業運営費	15,022,399					
	施設管理経費	7,129,228					
その他経費	11,395,700						
差引収支額	1,621,061	0	0	0	0		
年度協定書で定める指定管理料	182,476,636						

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5 15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2 10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2 10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3 15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	3 / 5	×3 9 / 15
区による評価合計点				84 / 100	

【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
 ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	コロナ禍で他館がプログラムの延期、中止をする中、産業医のアドバイスの元、感染予防に配慮しながら積極的に事業再開をはかりました。一昨年の高齢者事業のカラオケやマージャンに続き、高齢者バスツアーは港区いきいきプラザの中で最初に再開となり好評を得ました。夏には小学生高学年キャンプもいち早く再開し、定員いっぱいの参加者となりました。新規事業を積極的に行うとともに「ファミリーバスケット」「交流ウクレレ」「交流ポッチャ」などイベントではなく、日常の中での交流を多く行い、日々の中での世代間交流を実施しています。職員にはストレスチェック、年度初めと年度末に個別の目標面接をしたり、コロナ禍でも積極的に職員研修を行い、労働環境の充実を図りました。
区（施設所管課）による評価	当指定管理者は、基本協定や事業計画書等に基づいた事業運営を行っており、指定管理者による自己評価と区の評価はほぼ同等となりました。利用者の意見や社会情勢をいち早く把握し、適切な感染対策を講じながら、サービスの向上に努めた点は高く評価できます。また、利用者に喜んでいただけるよう新規事業にも積極的に取り組みことができました。今後は、指定管理施設としての区施策への積極的な協力として、シルバー人材センターや障害者支援施設の活用に向けて、区として協力を求めています。

6 評価

令和4年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
 A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
 B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
 C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）